

取組名	関係団体等と連携した「くじゅう地区国有林」の保全管理活動の推進	
署等名	大分西部森林管理署	
取組を行う背景・経緯	<p>長者原から牧ノ戸峠一帯の国有林は、「阿蘇くじゅう国立公園」の要所となっており、ミヤマキリシマなどの高山植物の群生地としても知られている。その景観は四季折々の変化に富み、また雄大な眺望も楽しめることから、年間500万人にも及ぶ観光客や登山者に利用されている。</p> <p>くじゅう地区では、美しい自然環境を守るために、環境省をはじめ、地元自治体や自然保護団体（九重の自然を守る会）などが自然保護活動を行っているが、より効果的な保全活動を行うためには、森林管理署が中核となり、各種関係機関や団体と連携・協力して活動を展開していく行く必要がある。</p>	
取組の概要	<p>各種関係機関等と合意形成に努めつつ、次に例示するような各種保全活動を連携・協力しながら総合的に展開。</p> <p>①やまなみハイウェイ沿いの森林景観の保全・整備 ②くじゅう連山の登山道の点検・整備③高山植物の保護活動</p>	
期待される効果・成果	<p>これらの活動により、観光客や登山者がより安全・快適に森林とふれあうことができるようになるとともに、国有林の管理経営について、地元住民をはじめ多くの国民の理解を深めることができる。</p>	